

11匹きのねこ

馬場のぼる 著



こぐま社 1967年 1200円

いつもお腹がぺこぺこの11匹のねこは、怪物みたいな大きな魚がいると聞き、いかだを作って捕まえに行きました。魚は大きすぎて歯がたちませんが、「ねんねこさっしゅれ」の子守歌で寝かしつけ、とうとう捕まえるのに成功します。ねこたちは、帰ってみんなに見せるまでは食べないと約束するのですが…。マンガ風の絵と愉快な話が子どもたちに大人気です。シリーズは「11匹きのねことあほうどり」「11匹きのねことぶた」など全6冊です。

14匹きのあさごはん

いわむらかずお 作



童心社 1983年 1200円

森に住む14匹のねずみの家族が、朝起きてからあさごはんの用意をして、みんなで食べるまでを描いています。文はごく少ないのですが、丁寧に描かれた、木の中の家の様子や森の生き物たち、14匹それぞれの表情や動きをじっくり眺めるのが楽しい絵本です。細部を見つけるのが上手な子どもたちは、すぐに14匹の名前を覚えて楽しむでしょう。シリーズは「14匹きのひっこし」「14匹きのやまいも」などがあります。

しろいうさぎとくろいうさぎ

ガス・ウイリアムズ 文・絵

まつおかきょうこ 訳



福音館書店 1965年 1100円

しろいうさぎとくろいうさぎはいつも一日中一緒に楽しく遊んでいました。あるとき、くろいうさぎがじっと考え込んで悲しそうな顔をしました。しろいうさぎといつもいつもいつまでも一緒にいたくなかったからです。墨絵風の濃淡の絵の中に、うさぎのやわらかな毛や豊かな表情がいきいきと描かれています。